

# 青少年の自立を支える会通信

第16号 2001年3月15日発行  
発行責任者／伊達悦子  
編集責任者／福田雅章

発行／青少年の自立を支える会  
所在地／宇都宮市南大通り4-2-18  
電話・FAX 028(651)0161

## 「新世紀にあたって」

支える会の皆様、21世紀を迎えていかがお過ごしでしょうか。新世紀ということで年末から大騒ぎが続いていました。世情から申しますと、希望に胸ふくらむ新年、新世紀という気分にはなれなかったのですが、少しでも「いいこと」を求めて今年も活動を進めたいと存じます。どうぞよろしくお願い致します。

昨年も相変わらず「子ども受難」の報道が相次ぎました。そうしたニュースのかげで二つの報道が、私に明るい光を与えてくれました。一つは、かつて児童養護施設で育った青年がプロボクシングの道を歩み出したというものでした。「この兄のおかげで今の自分がある」と語る弟は既に結婚しているのですが、厳しい道を歩み出した兄を心から支え合ってきた身近な人の存在はかけがえのないものであることを、改めて思ったのです。

二つめは、大分県別府市の児童養護施設「白菊寮」です。開設に深く関わった神奈川県の日米軍基地から寮まで、一本のたすきをつなぎながら走り、改築費用を捻出するというものでした。

## あと1カ月の「星の家」

ボランティア365 大岩尚子

星の家での生活もあと1か月となりました。この10か月はあつというまででしたが、とても中身の濃い時間を過ごさせてもらったと思います。

ここに来て今まで知らなかった事をたくさん体験しました。生活習慣や人の気持ち。

星の家の子どもたちは、私が持ったこともないような感覚でいろんな事を考えていて『目からうろこ』話をたくさん聞かせてもらいました。でも、逆を言えば私が普段から気にしているよ

## 青少年の自立を支える会代表 伊達悦子

もちろん、多くの市民ランナーとともに、十代から五十代の施設経験者が走りました。当時の仲間との生活を振り返り、親との面会を拒んだ当時の心境を振り返り、「今」を逃したらもう親との再会はかなわないのだという思いでの親捜しなど、その心持が映像をとおして痛いほど伝わってくるものでした。自立援助ホームの運営に関わる者の一人として、「星の家」を訪れる子どもたちへの人生の重みをきちんと受け止めるべきことを再確認した次第です。

「白菊寮」に関しては、改築という大きな事業に取り組むにあたり、市民運動的取り組みを企画したことに大いに学びました。「支える会」が設立当初、念頭においたのもこういう考えだったからです。行政当局に理解を深めていただけるよう更なる努力をするとともに、大勢の会員の方たちのご参加・ご協力を得て、新たな活動の展開を図る年にしたいものと念じております。今年も昨年同様、どうぞよろしくお願い申し上げます。

うな事を全く気にしていない。子どもなんだか、大人なんだか（もうちょっと気にしろよ・・・と思いつつ）その時は本気で腹を立てていても後になってみれば、みんな笑い話です。

この間、初めてYが私の部屋に入って来ました。Yとは一番長い付き合いです。でも、彼女はいつも部屋の中には入らず、戸の外に座るんです。どんなに寒くても、冷たい板の間に座って話をするんです。どうして中に入って来なかったのか？私の部屋が禁煙だからか？そのうち聞いてみようと思っています。とりあえず、彼女が「部屋に入ってくれた」ただそれだけでなんだか嬉しい1日でした。

# 第3回「星の家」まつり、おかげさまで大成功!

ボランティアの皆様、物品提供者の皆様、そしてご来場くださった皆様、  
ほんとうにありがとうございました。

## 第3回「星の家」まつり実行委員長 星俊彦

昨年(2019年)の10月29日(日)、いつもの会場である宇都宮市総合コミュニティーセンター駐車場において、第3回「星の家」まつりが開催されました。当日はあいにくの雨天。それでも会場に来て下さった皆様と、お手伝いに来ていただいたボランティアの皆様の熱い思いが今年も素晴らしい成果を生み出しました(決算書をご覧ください)!

屋外での開催で雨が降ったらどうするの? という議論も当然あったのですが、どこかに「きっと晴れるさ」という甘い考えがありました。しかし、当日の朝、それは無残にも打ち砕かれたのです。模擬店の材料は仕込んでしまったので中止にするわけにはいかないと、かと言ってバザーの品物は広げられないし……。ほんとうに分かっていたこととは言え、頭が痛くなりました。

とりあえず模擬店だけでも・・・と、開始に踏み切ったわけですが、何とか「星の家」まつりを成功させようと集まってくださった百名近くの人たちの熱気は黒雲を吹き飛ばしてしまうかのようでした。途中から始まったトラックの荷台からのバザー品の直接販売は、売り手も買い手も一体となり、すごいエネルギーが感じられました。少し離れたところから見ていると、全体から湯気が立ち上っているかのようでした。

今回は特にアトラクションは考えていなかったのですが、鹿沼から人形劇団くぐつの小川さん夫妻が来て芸を披露してくださったり、突然、ハーモニカの名手が登場して演奏してくださったりと、たいへんうれしいハプニングもありました。「星の家」のご近所の方、懐かしい知人、新しい友人、たくさんの方が顔を見せて下さいました。憩いの家の三好さんも東京から応援に来て下さいました。私たちにとって「星の家」まつりは、「たくさんの方々に支えられているんだ」ということをまさに目の当たりにすることができる、得がたい機会です。この支えがあればこそ

私たちは「星の家」を続けていくことができるのです。ほんとうに感動しました。ありがとうございました。

当日だけで熱気は冷めやらず、12月3日(日)には追加のバザーを実施しました。ここで、売れ残ったバザー品もずいぶん捌け、二日間を合わせると昨年度を上回る収益を上げることができたのです。

「星の家」まつりにご協力いただいたすべての皆様に心からお礼を申し上げます。

「星の家」も生まれてから3年と半年、まだまだ試行錯誤を必要とする部分もあり、これからいろいろと新しい問題も出てくるとは思うのですが、こんなにたくさんの方々に応援していただいているのです。恐れることなく乗り越えて行きたいと思います。今回の「星の家」まつりの反省会を契機に、私たち「星の家」のスタッフの負担を軽減するために収益事業を請け負ってくださる人たちの集まりも生まれそうな動きも出てきました。ほんとうにありがとうございました。これからもよろしく願いいたします。

## 第3回「星の家」まつり決算表

10月29日(日)

●収入	801,203
バザー売上	443,473
模擬店売上	323,730
当日寄付金	34,000
●支出	272,392
本部備品	82,193
バザー備品	4,347
模擬店仕入	185,852
●純益	528,811

12月3日(日)

●収入	369,962 (バザー売上)
●支出	26,485 (屋食代、バザー備品)
●純益	343,477

二日間の収益合計 872,288

# チャリティーコンサートを終えて

青少年の自立を支える会事務局長 福田雅章

去る1月28日のチャリティーコンサートでは、多数の皆様にご協力いただきほんとうにありがとうございました。当日は、前日が大雪だったことや日曜日の夜ということもあり、例年に比べ来場者の数は若干少なめでしたが、それでも230名の方にご来場いただきました。もちろん、都合で来場できない場合でも、たくさんの方にご好意でチケット購入していただきましたので、お蔭様で約60万円の収益をあげることができました。

コンサートの方は、第一部で鈴木静枝先生率いる「ザ・コーラス静輪」による合唱、第二部で

## 「今、思うこと」

青少年の自立を支える会会員 植野恭子(小山市)

小さい頃から“みんなが幸せになれるように…”というのが祖父母にお線香をあげる時の私の祈りである。とにかくみんなに笑っていてほしい。でも世の中ではいろんな事がある。いじめ、殺人、さまざまな虐待…。ニュースを見るたびに胸がジンジン痛くなり、涙が出るほどのショックを受ける。

だから大きくなったら、刑務所で働く人になりたいと思ったことがある。刑務所に入ってきた人に心を込めて接しよう。また、世界に目を向ければ、マザーテレサのようになりたい、とも思った。そして、いじめが増えれば、中学・高校の先生になろうかとも思った。そこで人を思いやる気持ち、心の痛みを伝えよう。そして私は今、保育士をしている。

私の結論はやっぱり小さい時が大切、一番はじめが肝心ということになったのである。小さい時に安心してありのままの自分を表現できる環境、たくさん愛してもらい喜び、私をちゃんと見ていてくれる人がいるんだという実感を伝えてあげたいと思ったからである。そして、それはちゃんと心に残ると思っている。

私は子ども達に「ごめんね。」「ありがとう。」「すごく嬉しい!」と心から伝えるようにしている。その時に驚いた顔をする子がいる。いかにそういう言葉をかけられていないかということ

美寿々すみ子さんによる下野民話「ぬくもりがたり」をお楽しみいただきました。第一部の合唱では、80余名の若若しい歌声に圧倒されながらも聞き入りました。また第二部では、民話とわらべ歌の演出に童心にかえってほのぼのとさせられました。ともにステージと会場が一体となり、2時間があつという間に過ぎたすばらしいコンサートになりました。ご来場された方はきっと満足されたと思います。来年もまた、多くの方々に楽しんでいただけるものを企画したいと思いますのでご期待下さい。

最後に、お忙しい立場にあるにもかかわらず、私たちの活動の趣旨をご理解下さり快く出演を引き受けて下さいました、鈴木静枝先生をはじめザ・コーラス静輪の皆様、そして美寿々すみさんにこの場をかりて深く感謝申し上げます。

をその時に感じる。そして子ども達はとっても嬉しそうにニコリ笑う。

私はいつも、心からの気持ちと笑顔で子ども達と向き合いたいと思っている。優しい気持ちは受けつがれていくと思うから。

この星の家の仲間に加えさせて頂いたのもそういう気持ちからである。どの子にも幸せになってほしいと思う。

私には何か大きなことはできない。でも、すぐ身近な所で優しい気持ちを分けてあげられたらな、と思っている。

### 電話相談「自立のホットライン」ご案内

できたての【ひとり立ちへの応援】カードをご紹介します。

#### あなたのひとり立ち、応援します!

自立のホットラインは、  
こんな相談を待っています

- ◆進路や就職などの悩み…
- ◆親や友人との人間関係の悩み…  
など

【秘密は守ります】

Tel 028-638-1210 土曜日 午後3時～8時

自立のホットラインは  
青少年のための相談窓口です

特定非営利活動法人 青少年の自立を支える会

Tel 028-651-0161

☆自立援助ホーム「星の家」を運営しています

「自立のホットライン」電話相談員ボランティアを募集しています。お問い合わせは事務局へ。

# ご支援ありがとうございます

## ●支援の輪 (2001. 2. 28 現在)

会員数 696 人

会費 4,430,000 (4月～2月)

寄付 2,689,433 (4月～2月)

## ●募金箱

「青少年の自立を支える会」では陽東ロータリークラブ様から寄贈していただいた募金箱を各所に置かせていただいております。回収と集計に手間取り、これまで皆様にご報告ができませんでした。また、回収させていただいた設置先

の皆様にも集計の結果とお礼が届いていない所があったかと思ひます。ここに失礼を深くおわび申し上げます。

また、現在、設置先リストの再チェック作業をしております。未回収の所、あるいは以下のリストに入っていない所の皆様にはお手数ですが事務局(自立援助ホーム「星の家」)または設置依頼者までご一報いただければ幸いです。それから、まだ未設置の募金箱がいくつか残っております。置いていただける方がございましたら、「星の家」までお知らせ下されば、お届けに上がります。どうぞよろしく願ひいたします。

●これまでに回収させていただいた募金箱の設置先  
こどもの本専門店「ぼく」 シャローム とんかつ新三 ハートピア喜連川 パルティ女性センター パルティ内レストラン やまと 下野新聞社 丘元 玄海 佐藤栄 作新大学 篠原接骨院 社会福祉教育センター 小牧製作所 上都賀福祉事務所 真岡市公民館 星小児科病院 西遊記 石島会計事務所 多可瀬 大楽園 第2氏家幼稚園 宅原商店 那珂川苑 百瀬文具店 富貴亭 弥五郎 陽東ロータリークラブ 養徳園 喜連川中学校 弁天 竹末食堂

## ホーム長の活動日誌

以下のところでお話しをさせていただきました。(ホーム長)

### ●2000. 5. 28

宇都宮市労働組合会議主催『宮発: 21 シンポジウム～SOSが聞こえますか?』(藤榮利治さん、水島広子さんと共にパネラーとして)

### ●2000. 5. 29

茨城県立友部みどり学園『自立援助ホーム』セミナー(講師として)

### ●2000. 7. 4

高根沢町立上高根沢小学校PTA講演会(講師として)

### ●2000. 7. 12

高根沢町民生児童委員協議会定例会講話(講師として)

### ●2000. 7. 14

矢板市立東小学校家庭教育学級講演会(講師として)

### ●2000. 7. 29

シャプラニール夏のつどい2000 in とちぎ分科会『ともに生きる社会をめざして』(中村明美さん、中里容子さんと共に話題提供者として)

### ●2000. 11. 1

栃木県小児虐待防止ネットワーク月例研究会(話題提供者として)

### ●2000. 11. 16 (美帆)

全国児童養護施設長研究協議会第4研究部会『自立支援の課題と方法』(発題者として)

### ●2000. 11. 16

宇都宮市第4次総合計画基本計画の見直しに係るグループヒアリング(グループヒアリングメンバーとして)

### ●2000. 11. 18

栃木県高等学校教職員組合教育文化講演会

(講師として)

### ●2000. 12. 16

全国自立援助ホームセミナー東日本大会 分科会『自立援助ホームの制度と実際』(話題提供者として)

### ●2001. 1. 13

全国自立援助ホームセミナー西日本大会 分科会『自立援助ホームの制度と実際』(話題提供者として)

### ●2001. 1. 14

栃木県高等学校教職員組合教育フォーラム『子ども達からのSOS』自由討論(伊達悦子理事長、水島広子さん、毎澤典子さんと共にコメントレーターとして)

### ●2001. 1. 23

上都賀地区民生委員児童委員研修会(講師として)

### ●2001. 1. 26

宇都宮市立陽東中学校生活指導委員会研修会(講師として)

### ●2001. 2. 3

壬生町生涯学習講座セミナー『21世紀へのかけ橋』(講師として)

### ●2001. 2. 10

宇都宮市男女共生社会をめざす市民のつどい分科会『子どもの心を育むために』(事例発表者として)

### ●2001. 2. 16

宇都宮市立陽東中学校PTA生活指導委員会研修会(講師として)

栃木県医療社会事業協会の皆さんの勉強会(話題提供者として)

### ●2001. 3. 3

宇都宮市平石公民館『子育てシンポジウム』(岡田忠治さん、大岡久江さん、北沢典子さんと共にパネラーとして)